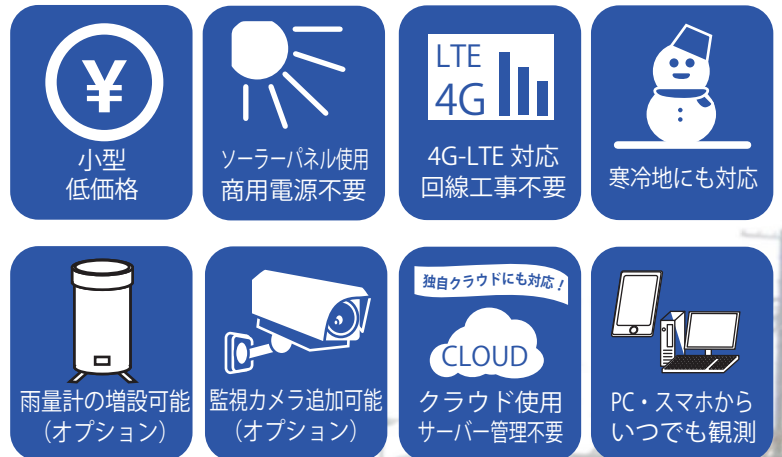


# 危機管理型水位計

## 簡単設置のメンテナンスフリー 河川水位観測機器

危機管理型クラウド水位計伝送仕様 対応！



センサーは

**3タイプから選択可能**

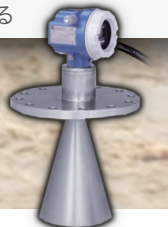
地形や設置場所に柔軟に対応できる



圧力式



超音波式



電波式

### 太陽電池使用・回線工事不要のローコスト水位計 自律型と制御型をラインナップ

設置の手間や維持コストを最低限に抑え、洪水危険時の水位観測に特化した危機管理型水位計です。水位センサーは、電波式や超音波式、投込式の圧力式水位センサーを選択可能。

#### ■ 計測は2パターン

##### 自律型

平常時は10分間隔で計測（監視モード）。設定された水位警戒レベルを上回った場合に、2分間隔で水位データを送信。

##### 制御型

平常時は観測を行わず、上流の水位や降雨状況による外部制御で、自律型同様の監視モードに移行。

電源は太陽電池を使用し、無日照下においても9日間以上水位観測を実現。電源を引けない場所での観測も可能です。

### PCやスマホから、簡単閲覧

クラウド使用でサーバー管理も不要  
独自クラウドにも対応！

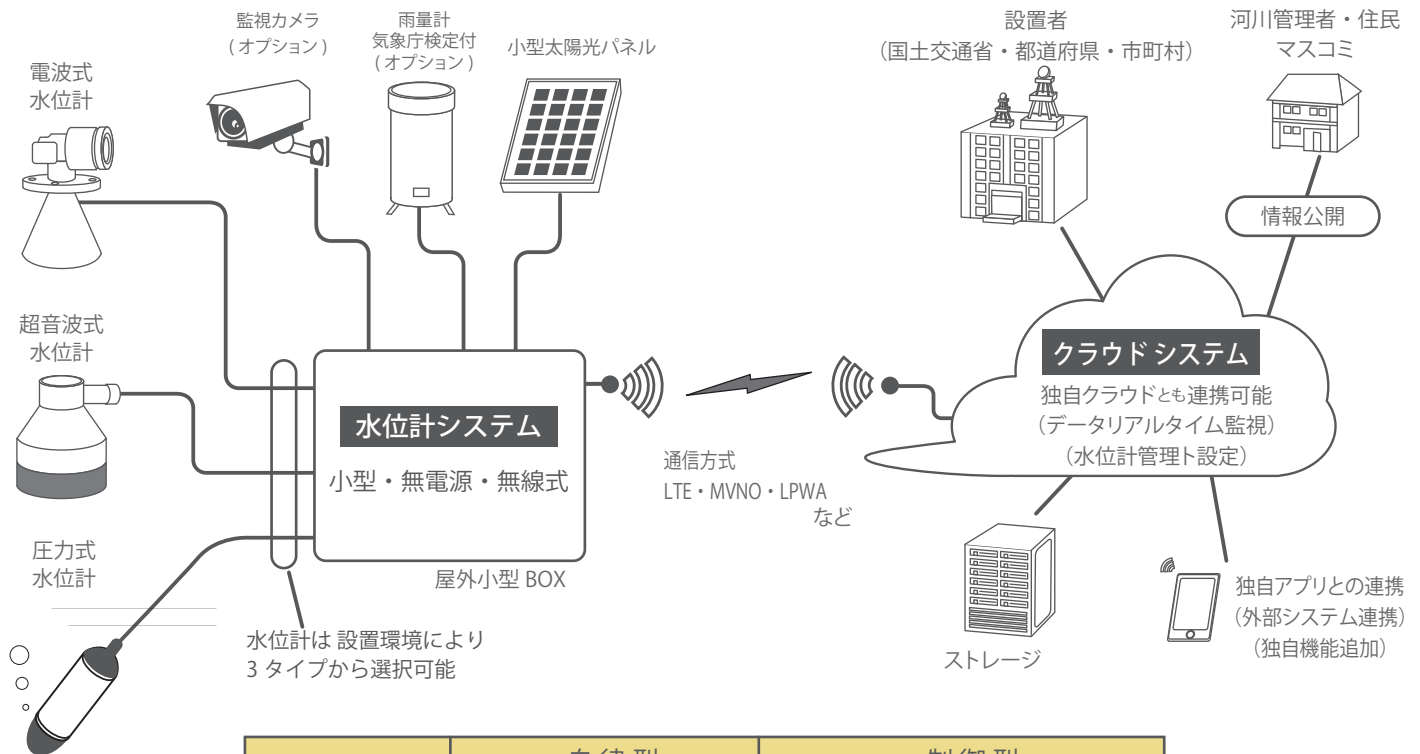


# 危機管理型水位計

## 電源・回線 工事不要のローコスト水位計

自治体が住民に避難勧告などの指示を出す際には、判断基準となる河川の水位情報が欠かせませんが、現在全国の中小河川では水位計の設置が進んでおらず、洪水時に中小河川の状況を正確に把握することが困難です。そこで、設置や維持コストを最低限に抑え、洪水危険時の水位観測に特化した危機管理型水位計（小型、低価格、無電源）を開発致しました。水位センサーは設置場所や地形等により、電波式や超音波式、

投入式の圧力式水位センサーを選択することができます。水位の計測は、平常時は10分間隔で計測し、設定された水位警戒レベルを上回った場合に2分間隔で水位データを送信する**自律型**。平常時は観測を行わず、上流の水位や降雨状況により10分間隔で計測し、設定された水位警戒レベルを上回った場合に自律型同様に2分毎に最新の水位データを送信する**制御型**があります。電源は太陽電池を使用し、無日照下においても9日間以上、水位観測が可能となっていますので、電源を引けない場所での観測も可能。寒冷地での使用にも対応しています。



	自律型	制御型
<b>水位計測部</b>		
方式	超音波式、電波式、圧力式（設置場所の地形や状況により選択）	
測定範囲	0～10m、20m、30mまたは50m	
最小単位	1cm	
精度	±0.3% F S	
<b>観測装置</b>		
水位サンプリング	1秒毎	
水位平均化処理	20秒移動平均 異常値除去および20個のデータ（20秒間）から最大/最小の2データづつを除去した16個のデータの平均値	
休止モード	なし	あり（平常時は観測をしない）
平常時水位監視（監視モード）	常時10分間隔で水位監視	上流の水位上昇や降雨の状況から外部制御により10分間隔で水位監視を開始
洪水時水位観測（観測モード）	観測開始水位を上回った場合、自動的に2分間隔で観測を行う（観測水位レベル、観測間隔は設定が可能）	
死活監視	1日1回（設定可能）計測データ送信	
ロガー機能	バックアップデータとして毎1秒データを内部SDカードに保存	
通信装置	LTE・MVNO・LPWA等による無線方式で外部データベース（クラウドサーバなど）に伝送する	
時計機能	GPS レシーバまたはNTPで定期的に時刻校正を行う	
電源部	太陽電池駆動とし、9日間無日照で稼働（監視モード）後、さらに観測モード（2分間隔）で5時間以上の容量を搭載	